

# 「縄文」世界遺産に



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社  
©東奥日報社 2021

インターネット  
号外

の購読は  
お問い合わせは

東奥日報社販売局  
0120-40-5000

24時間受付

## 北海道・北東北17遺跡

オンラインで開催されている国連教育科学文化機関(ユネスコ)の第44回世界遺産委員会は27日、本県、北海道・岩手県、秋田県の17遺跡でつくる「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界文化遺産に

登録すると決めた。本県の世界遺産は、1993年登録の自然遺産「白神山」に続き2件目で、文字のない「先史時代」の文化遺産としては国内初の登録となる。縄文遺跡群は紀元前



世界遺産登録が決まった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一つ、青森市の三内丸山遺跡(本紙空撮チーム、許可を得て小型無人機で撮影)

1万3千年〜紀元前400年の集落、共同墓地、祭祀の場などの遺跡で構成する。ユネスコの諮問機関・国際記念物遺跡会議(イコモス)は日本政府が提出した推薦書や昨年9月に実施した現地調査の結果などを踏まえ、今年5月、「先史時代における農耕を伴わない定住社会および複雑な精神文化を示す」などと評価し、世界文化遺産に登録すべきと勧告していた。

本県には大規模拠点集落の三内丸山遺跡(青森市)をはじめ、小牧野遺跡(青森市)、大森勝山遺跡(弘前市)、是川石器時代遺跡(八戸市)、田小屋野貝塚、亀ヶ岡石器時代遺跡(以上つがる市)、大平山元遺跡(外ヶ浜町)、二ツ森貝塚(七戸町)の計8遺跡がある。

県外の9遺跡はキウス周堤墓群(北海道千歳市)、御所野遺跡(岩手県一戸町)、大湯環状列石(秋田県鹿角市)など。

詳細は28日付朝刊で